



『活きていることわざ』

船橋市議会議員（無所属・4期）

神田 廣栄（かんだひろえい）市議会報告

【事務所】

船橋市前原西8-24-8

☎047-490-3333

Fax 465-7117

Eメール hiroei@muc.

biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

hiroei.jp

後の祭り・下駄を預ける・他力本願

【後の祭り】◇手遅れで、時期を失し役にたたないこと。

《解説》祭りの終わった翌日に来た人は、祭りに参加することも、見物することもできない。

《類語》「六日の菖蒲 十日の菊」「証文の出し後れ」

【下駄を預ける】◇物事の処理や責任を相手に押しつけ、一任した形をとること。

《解説》下駄を預けてしまうと自由に動くことができなくなり、行動の自由を相手に任せることになるから。

【他力本願】◇阿弥陀の力に頼って極楽往生すること。転じ、他人の力に頼って事を成すこと。

《解説》「本願」は、仏・菩薩が、全ての人々を救うために立てた願いのこと。

朝晩めっきり涼しくなって、吐く息も白くなる日が多くなってきました。10月に入って台風が二つも上陸や沿岸をかすめていったり。季節遅れの秋雨前線による長雨が続いたり、異常気象の連続でした。体調管理に気をつけてください。

異常といえば、10月に衆議院が解散され、総選挙が行われました。平成31年10月に10%に値上げする消費税の「用途変更」と「国難突破」しなければならないという解散の理由は、全くの後づけだと思います。私は、森友・加計問題の追及から逃げるための、臨時国会の冒頭解散であったと思います。



ずっとこの二つのお友達問題は報道され続けていましたし、総選挙でも野党がこればかり言っていましたので、いまさら書きません。しかし、カジノを含む統合型リゾート（IR）の整備をめぐる推進法が昨年12月に成立しましたが、1年以内をめどに規制基準などを盛り込んだ「実地法案」は今後提出されます。このカジノ誘致についてもお友達関係に便宜を図ることではないかと思っています。各新聞には「総理の一日」など、総理大臣の一日の動向が毎日掲載されていますが、ここには載っていない事実として、その関係会社のオーナーと仲良く食事していたことを間接的に知っています。ぜひ『後の祭り』とならないようにしなければなりません。



ところで、1996年に導入された現在の選挙制度「小選挙区比例代表並立制」をどのように思われますか。選挙区ごとに一人が当選できる小選挙区選と、落選しても比例により復活当選となれる制度です。

船橋市では、前回（平成14年）の総選挙における得票は、①野田佳彦さん（民進党）119,193票、②木村哲也さん（自由民主党）67,600票、③斎藤和子さん（日本共産党）24,275票 ④西尾憲一さん（無所属）19,510票の順番で、小選挙区選での当選は野田佳彦さんのみで、三位の日本共産党の斎藤和子さんが比例で復活当選されました。

そして、今回は、①野田佳彦さん（無所属）131,024票（得票全体の59.6%）、②木村哲也さん（自由民主党）61,491票（28.1%）、③深津俊郎さん（日本共産党）14,955票（6.

8%)、④佐藤浩さん(日本維新の会) 12,104票(5.5%)でした。二位の木村さんは野田さんの約半分の得票でしたが、比例で復活当選されました。

比例では小選挙区選に出なくて比例のみ単独と、小選挙区選と比例の二本立てで立候補できます。二本立てで立候補した人は、小選挙区選で落選しても当選した人との「惜敗率」で、政党の上位から当選できる仕組みになっています。

無所属で立候補した人は、比例との二本立てができませんので、小選挙区選で落選したらそれまでです。復活当選された方には申し訳ないのですが、**落選は落選**というのが当然で、「復活」できる制度には納得がいきません。そう思う人は多くおられるのではないのでしょうか。

また、小選挙区選にも納得いかないことがあります。

	得票数	割合	当選者数	割合	(立候補者数)
自由民主党	26,500,776	47.82%	215	74.39%	(277)
希望の党	11,437,601	20.64%	18	6.23%	(198)
立憲民主党	4,726,326	8.53%	17	5.88%	(63)
公明党	832,453	1.50%	8	2.77%	(9)
日本共産党	4,998,932	9.02%	1	0.35%	(206)
無所属	4,315,027	7.79%	26	9.00%	(73)

上記は主な政党と無所属の得票数と当選者数の割合を示したものです。立候補者の数が多ければ得票数も影響すると思いますが、得票数が全体の半分にも満たない自由民主党が、当選者数の4分の3を占めています。(10月24日現在。追加公認を含まず)



現在の制度が日本国民の意向が反映されているとは思われません。政権与党が有利な制度であることは明白です。

次に**北朝鮮の問題**です。ミサイルの発射、地下核実験など暴発しています。日本の国難という表現は的確ですが、政党問わず対処すべき課題であり、選挙の争点にするのはおかしな話でした。

忘れてならないのが、拉致問題です。小泉元首相が北朝鮮に乗り込み、5人の拉致被害者を連れ戻して15年になります。

安倍さんが首相になって約5年になります。世界中回っての外交を否定するものではありませんが、ただただお金の**バラマキ**に終わらず、人脈を築いているのなら、トランプ米国大統領に『下駄を預ける』だけでなく、韓国、ロシア、中国、EUの首脳と会話し了解を取り付けて、単身、あの北朝鮮に乗り込んで交渉する勇気が欲しい。5年間、何をしてきたのか、拉致被害者の親は既に亡くなったり、高齢になられ、辛い毎日を送っています。



あの**アントニオ猪木**さん、何回も北朝鮮に行ったみたいですが、どんな成果があったのでしょうか、私費ならまだ許せますが、まさか税金は使っていないでしょうね。

3分の2を超える議席を得た与党議員の皆様、**説明責任**をしっかりと果たし『他力本願』しないで、日本と日本国民のために誠心誠意働いてください。